

ふくしまゼロカーボン宣言事業の取組による効果

	<p>1 二酸化炭素排出量を見える化すると…</p> <p>エネルギー別の排出量を見える化することで、効果的なCO₂削減対策を知ることができます。県では、簡単にCO₂排出量を計算できる「二酸化炭素見える化ツール」を配布しています。 (http://www.pref.fukushima.lg.jp/site/ontai/nisankatanso.html)</p>
	<p>2 省エネ性能が高い照明等を使用すると…</p> <p>高効率照明器具(LED等)へ更新することにより、電気の消費量を減らすことができます。 (導入効果) コスト削減金額331千円/年 CO₂削減量6.4t/年 ※ 蛍光灯80台をLEDに交換した場合</p>
	<p>3 再生可能エネルギーを導入すると…</p> <p>再エネ発電設備を導入することで、電気の購入量を削減できます。 (導入効果) コスト削減金額156千円/年 CO₂削減量3.0t/年 ※ 容量0.38kWのパネルを18枚導入した場合</p>
	<p>4 機器・設備の台帳を作成し、計画的に更新すると…</p> <p>省エネ性能が高い製品に定期的に更新することで、製品を安全に使用できるだけでなく、電気の使用量の削減も期待できます。</p>
	<p>5 社用車に電動車(電気自動車、燃料電池車など)を導入すると…</p> <p>次世代自動車へ乗り換えを行うことで、燃料費や走行時のCO₂が削減できます。 (導入効果) コスト削減金額63.3千円/年 CO₂削減量0.67t/年 ※ガソリン車からEV車への乗り換え</p>
	<p>6 エコ通勤を実施すると…</p> <p>マイカー通勤から、電車やバスの公共交通機関や、徒歩での通勤に切り替えることで、通勤時の事故リスクの低減や、事業者の駐車場経費の削減ができます。</p>
	<p>7 エコドライブを実践すると…</p> <p>エコドライブを行うことで、CO₂の排出量を減らすだけでなく、経済面や安全面でのメリットがあります。 (導入効果) CO₂削減量0.25t/年 燃費改善15.17km/l → 17.23 km/l ※平日40km、休日50km走行する場合</p>
	<p>8 節電・節水に取り組むと…</p> <p>現状の設備の使用方法を見直すことで、初期投資をせずにコストの削減ができます。 (導入効果) コスト削減金額6.25千円/年 CO₂削減量0.12t/年 ※照明の年間使用量5,000kWh/年の事業所が5%の削減を行った場合</p>
	<p>9 カーボン・オフセットに取り組むと…</p> <p>環境問題へ取り組む企業として周囲に認知されるほか、クレジットのついた製品の販売や、脱炭素推進企業としてのPR活動を行うことで、企業イメージの向上につながります。</p>
	<p>10 自社の取組を関連会社等に展開すると…</p> <p>関連会社と協力することで、規模の大きい活動が実践でき、広域に企業の活動を周知できます。</p>

カーボンニュートラルを実現するため、ふくしまゼロカーボン宣言事業に参加しましょう！